

事業計画書

事業名	若い世代が参画する原・浮島地区のにぎわい創出イベントの開催
実施場所	原地区センター広場
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。 令和6年 9月 9日 ~ 令和6年 12月 31日

◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。

令和6年11月10日に原地区センターで開催される「第8回はら逸品うまいものフェス」会場において、にぎわいづくりのため消防や赤十字、レーシングカーなどの車輛の展示や地元出身のアイドルによるステージ等のイベントを開催する。今年は地元の若い世代に当日の運営に参画していただき、コーストFMによる公開録音にも出演していただくことで、原・浮島地区をはじめ沼津市西部地区におけるにぎわい創出と地域活動の担い手を育成する。

◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。

旧駿東郡原町地区を中心とする原・浮島地区は、今から50年以上前に沼津市と合併して以来、国道1号線バイパスの開通を契機に多くの企業が進出し、団地や個人住宅が増えベッドタウンとして発展してきた。しかし近年は企業の統合や撤退による人口流出や団地の老朽化、住民の高齢化等が課題となっている。

そのような状況の中で平成29年、沼津市原で焼き鳥店「美よし」を経営する代表者をはじめ沼津市商工会の若手有志が、原・浮島地区を「食」で盛り上げるイベントを開催したいと実行委員会を立ち上げ、同年11月12日に第1回はら逸品うまいものフェスを開催した。原・浮島地区をはじめ沼津市内外の魅力ある逸品や若手ミュージシャンのライブなどが若い世代に評判となりその後、回を追うごとに来場者が増加。令和5年の第7回では原地区センター広場に約3,000名の来場者を記録するなど沼津市西部地区の秋のイベントとして定着している。

なお令和4年の第6回より、代表者及び若手有志の一部は「美よしグループ」として沼津市商工会「はら逸品うまいものフェス実行委員会」から独立し、レーシングカーの展示や地元出身のアイドルによるライブなどのイベントを独自で開催している。

今年11月10日（日）に開催する予定の第8回はら逸品うまいものフェス会場において、美よしグループはにぎわい演出のため消防ポンプ車や赤十字の献血車、レーシングカー展示やコーストFMによる公開録音を行う。ラジオの公開録音は今回新たに企画したイベントで、原・浮島からの盛り上がりイベント来場者だけではなく静岡県東部地域に向け発信する。また地域活動の担い手育成のため地元の若い世代に当日の運営に参画していただき、公開録音への出演も予定している。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
9 月	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。 ※ハード部門については、12月31日までに施設整備を終え、その後は施設を活用する計画としてください。</p> <p>美よしグループ会合 ・駿東伊豆消防本部 ・赤十字 ・レーシングカーの展示 ・アイドルグループ ・コーストFM</p>
10 月	<p>公開録音出演者へのオファー行方。</p> <p>美よしグループ会合 イベント内容の最終確認</p>
11 月	<p>美よしグループ会合 当日の役割分担の確認</p>
11 月 10 日	<p>第 8 回はら逸品うまいものフェスにてイベント開催</p>
12 月	<p>美よしグループ会合 イベント内容の反省、今後のイベント内容について協議する</p>

◎事業効果

<p>※事業の実施により、期待される効果を記載してください。</p>			
<p>はら逸品うまいものフェスの知名度向上 原・浮島地区をはじめ沼津西部地区のにぎわい創出及びイメージ向上。 若手世代による地域コミュニティの活性化。 地域活動の将来の担い手の育成。</p>			
<p>成果指標</p>	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。</p> <p>来場者 3,500 人 (前年比+500 人 目標) ラジオ視聴者からの評価：アンケート 30 件を目標</p>	<p>指標の 検証方法</p>	<p>※左記指標の検証方法を記載してください。</p> <p>来場者：来場者数のカウント ラジオ視聴者からの評価：番組内でのアンケートを実施</p>

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>社会的 必要性</p>	<p>※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。</p> <p>若い世代は地域活動に消極的と言われているが、現状は地元を盛り上げたいと思う若い世代を既存の団体が受け入れる体制になっていないからと考えている。このまま上の世代が引退すると後継者がいないため地域活動は消滅する恐れがあるため、若い世代が受け入れることができるイベントが求められると考える。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沼津市西部地区は企業進出や団地によりベッドタウンとして発展したが、地盤などのネガティブなイメージで語られることが多い。 ・沼津市西部地区は自治会やコミュニティなどの組織が他地域に比べて活発ではあるが若い世代が活躍できる場が少ないと考える。 ・地元の若い世代が地域活動に関わることができる数少ない機会でもあり、将来のまちづくり活動に向けて学ぶことができる。
<p>独創性</p>	<p>※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はら逸品うまいものフェスは観光イベントではないため、レーシングカーの展示やアイドルのライブなどの盛り上げを自ら担当している。これだけの規模のイベントができる団体は他には見当たらない。 ・コストFMによる公開録音は初めての試みであり、今まで会場に訪れた方が体感できたにぎわいをラジオに乗せて共有することができる。
<p>実現性</p>	<p>※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はら逸品うまいものフェスの立ち上げから現在の規模のイベントに成長させてきた実績がある。 ・沼津市商工会の「はら逸品うまいものフェス実行委員会」から独立し、令和4・5年はグループで協賛金を集めて独自で開催した実績がある。
<p>発展性</p>	<p>※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年にはら逸品うまいものフェスを立ち上げた際に4名だったメンバーは令和4年に独立して現在は9人となり、賛助メンバーを入れれば20名程度に増えてきた。今後もグループの活動を続けていくため現在20代～30代のメンバーを集めている。 ・沼津市内の福祉施設からイベント開催への協力を打診されている。 ・将来的には原・浮島をはじめ沼津市西部地区出身の学生の参加できるように学校等に働きかけていきたいと考えている。

◎次年度以降の活動予定

<p>※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。</p> <p>次年度ははら逸品うまいものフェスでのにぎわいイベント開催に加えて、沼津市内で担い手不足によりお祭りなどのイベントができなくなった福祉施設からの求めに応じてイベントを開催する予定。</p>
--

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。